

自律して学び続ける子どもの育成～自分に合ったペースや方法で学ぶことを通して～
1年 生活科「おちばや 木の みで つくろう」
自分に合った課題を見つけ、楽しく活動しよう

授業の様子

1年2組



本時では、3回中1回目の制作に取り組みました。3種類のけん玉の簡単な作り方を提示し、「全種類作ってもよい」「自分なりの工夫をする」「ミニ先生やヒントカードで、友達に教える」など、自分に合っためあてを立てて取り組みました。その後はけん玉を丁寧に作ったり、ヒントカードに「たこ糸は2回結ぶとほどけにくい。」と書いたりしていました。自分で決めためあてに向かって、活動することができました。

1年3組



本時では、3回中3回目の制作に取り組みました。けん玉の仕組みが出来上がると、テープの貼り方を工夫して頑丈にしたり、遊ぶ人が楽しい気持ちになるようにペンで絵をかいたりして、全員自分のけん玉を完成させることができました。完成したことがわかるように、児童に帽子をかぶせました。その後は、他の種類のけん玉を作ったり、友達に教えたりしていました。さらに、工夫を加えるごとに教師からシールがもらえるため、いくつもの工夫を考える児童もいました。

1年1組



本時では、「制作したこまやけん玉で楽しく遊ぶ」活動に取り組みました。児童は「友達とお互いのけん玉を紹介し合う」「グループで大会をする」「みんなの前で技を披露する」など、自分の興味・関心に応じてやりたいことを見つけて、自分のめあてとして取り組みました。その後「お互いのけん玉のよいところを教える」「こま大会のルールをきちんと決める」など、自分に合った方法で、めあてに向かって活動することができました。

成果と課題

- 一人一人が自分に合っためあてを設定したことで、様々な活動の中から自分の課題を見つけたり、どのように学習を進めていくかを決めたりと、自分に合ったペースや方法で学習に取り組むことができました。
- 基本的な作り方を提示する一方で、様々な材料を自由に使えるコーナーを設置したことで、混乱せずに制作したり、自由に工夫して制作したりすることができました。
- けん玉が完成すると帽子をかぶったり、工夫をされるともらえるシールを帽子に貼ったりさせることで、個々の進度がわかりやすくなり、児童同士が自然に教え合うことができました。
- 今回準備した材料では、作りたいものが作れなかったり、工夫が広がらなかったりすることがありました。児童の振り返りを適切に把握することで準備物の見直しを行い、児童の活動に広がりがあるようにしたいと思います。